

人間をこよなく愛した 晁光画伯の足跡をたどって

島根町出身の日本画家松本晁光画伯から同画伯の作品を数多くご恵贈いただきました。そのご厚意に感謝の意を表し、文化・芸術の殿堂として「ギャラリー晁光」を開館いたしました。

この美術館は、その名にありますように松本晁光画伯の功績を顕彰し、ご恵贈いただいた作品を永久保存させていただくものでございます。また、この美術館は「海が見える美術館」としてすばらしいロケーションと落ちついた雰囲気の中でご鑑賞いただけるようになっております。

どうか、ご来場の皆様には展示作品を通しまして存分に松本晁光画伯の世界に浸っていただきたく存じます。そして、この美術館が島根町の芸術・文化の振興に大きな礎になりますよう祈念してやみません。

松江市教育委員会

〒690-0401 松江市島根町加賀 ムリンアラザしまね2階
美術展示ホール「ギャラリー晁光」
TEL (0852) 85-9111 FAX (0852) 85-3800



■アクセス

身体のご自由な方のためエレベーターや専用トイレを備えています。

区分	個人	130円	100円/1名
	団体 (20人以上)	260円	200円/1名
常設展	大人 (高校生以上)		
企画展	小人 (中学生以下)		

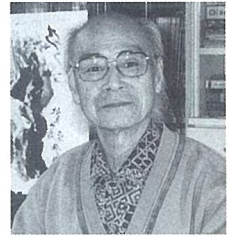
- 開館時間 ■ 午前9:30～午後5:00 (受付は午後4時まで)
- 休館日 ■ 12月28日～1月4日
- 入館料 ■ 11月～3月:火曜日休館

ムリンアラザしまね2階美術展示ホール

■利用案内

海が見える美術館 “ギャラリー晁光”

晁光の世界



故 松本晁光画伯(1902-1997)

父・松本利之助(島根県加賀村出身)母・石田トマ(広島県有保村出身)の長男として、明治三十五年六月十五日、広島県甲奴郡上下村(現、上下町)にて出生。のち、幼少時代を島根県加賀村(現、島根町加賀)にて育つ。

京都市立絵画専門学校(現、京都芸大)卒業。研究科に進む。

土田麦僊に師事し、麦僊の山南塾に入塾。

帝展、京都市展、国際万国展、東京聖徳太子奉賛展等に入選。

師、土田麦僊病没後、山南塾の仲間と共に、大原孫三郎(倉敷市大原美術館創設者)の後援を得て、山南会を發足。

東京府(現、東京都)美術館、京都市美術館で、毎年山南会展を開催。

太平洋戦争により、山南会に解散命令が下される。以降、無所属で個展主義に徹す。

「日々新たなり」を信条に、研鑽に励み、孤高なる一生を過ごし、独自の世界を築いた。

昭和天皇、皇后陛下下奈良県行幸時の御宿泊先、吉野「竹林院」の襖絵を揮毫。

代表作は、当町に所蔵しているほか、出雲大社、京都の知恩院、法然時、河内長野の吉野極楽寺、和歌山の清浄華院などに所蔵されている。

京都大丸ほか各地の百貨店で三十数回個展を開催。晩年、郷里松江市でも数次に亘って個展を開催。

平成九年六月十八日没す。

松本晁光画伯の所蔵作品

写実主義から精神主義に移行する松本晁光画伯の世界を心ゆくまでご鑑賞ください。



写実画「巢」



鯉「古り鯉(花子)」



仏画「観音(屏風)」



墨彩画「三人三昧」

美術展示ホール「ギャラリー晁光」

本町出身の松本晁光画伯の日本画の常設展示や、他の美術作品の企画展示を行います。また、静止画ハイビジョン映像「晁光の世界」により、画伯の足跡を映像をとおしてよりわかりやすく紹介しています。



アトリエコーナー

画伯が生前絵を描かれていた環境を再現



ハイビジョン映像

画伯の足跡をハイビジョン映像にて紹介



美術展示室

画伯の作品の常設展示や他の絵画等の企画展示